

しゅん か しゅう とう  
春 夏 秋 冬

《冠婚葬祭(红白祭事)》结婚典礼和结婚纪念日

在这一期里，我们给大家介绍一下冠婚葬祭中的“婚”。

近几年来，请媒人提亲的“说婚”逐渐减少，相反在工作单位或同好会、兴趣活动小组里，借助“相会”这样的契机走向恋爱、结婚的这种过去就有的方式、以及通过民办婚姻介绍所实现终身大事的人，倒是越来越多了。

当两个人的心中坚定了“结婚”这一信念以后，就要互相交换“订婚信物”。这种信物交换仪式，光由相爱的两个人来完成当然未尝不可，只是双方家人都出面、大家共同进餐这种形式最近比较受欢迎。

之后，截至到举行婚礼前的几个月，还要立一位媒妁之人来奉纳彩礼。近来不立媒妁之人，而是利用饭店及典礼会场的“彩礼包”，由二人及其双亲一共六个人参加的“奉纳彩礼”仪式、甚至连奉纳彩礼本身都省略的情况，也十分普通。

结婚典礼

结婚典礼分为“神前婚”、“佛前婚”、“基督教式”及“人前婚”几种形式。另外，不在日本、而是在海外举行婚礼的人也正不断增加。

同时跨国婚姻的件数也逐年上升，现在每二十对新人中就有一对属于跨国婚姻。据说跨国恋人举行结婚典礼和开喜筵的时候，往往选择不会给双方的宗教信仰带来影响的“人前婚”形式。另外，除了由列席者充当证婚人的“人前婚”以外，虽然为数还不算多，但是将终身大事托付给一种被称为“公民使者”的专职人员，请其主持一场无神婚礼——“公民婚”的形式，也开始



かんこうそうさい  
《冠婚葬祭》結婚式と結婚記念日(けっこんしきとけっこんきねんび)

こんかい  
今回は、冠婚葬祭の「婚」についてご紹介  
します。

近年では、世話人に縁談を依頼する見合い  
けっこん 結婚が少なくなる一方、職場や趣味の場  
における出合いをきっかけにした、従来からの  
恋愛結婚のほか、民間の結婚相談所を利用  
する人も増えてきています。

結婚する意思が二人の間で固まったら、  
婚約記念品を交換します。記念品の交換は、  
ふたりだけでもできますが、双方の家族が立  
ち会つとともに、一緒に会食する方式が最  
近の人気スタイルです。

その後、挙式の数が月前までには、仲人を  
立てて結納を行うこととなりますが、昨今  
では、ホテルや結婚式場の結納パックを利  
用し、仲人を立てずに本人たちと双方の両  
親の6人だけで行うことや結納自体を省  
略することも一般的になってきています。

結婚式(けっこんしき)

結婚式のスタイルには、「神前」、「仏前」、  
「基督教式」、「人前」などがあります。  
また、日本国内ではなく海外での挙式を行  
う人も増えていきます。

なお、国際結婚が年々増加しており、現在  
では20組に1組が国際結婚という状況  
になっています。国際結婚の場合の挙式と披  
露宴は、お互いの宗教上の問題がない  
「人前」で行うことが多いようです。また、参  
列者が証人となる「人前」ではなく、シビル  
ミニスターという専門の人が無宗教で入  
籍の儀式を行う「シビルウェディング」が日  
本でも、少しずつ取り入れられてきています。

被日本人接纳；相反，有的人为了感受日本的传统文  
化，专门选择“神前婚”或“佛前婚”的，似乎也不在少数。

### 结婚喜筵

一般说来，结婚典礼结束之后，接着还要开一场喜筵，目的是在同一天里向亲戚、朋友及熟人等报告自己已经结婚，并且请大家一起来分享这份喜悦。

结婚喜筵的形式分为“坐餐式”、“简便坐餐式”及“立餐式”三种。其中“坐餐式”是指在餐桌边就坐，慢慢儿品尝套餐的形式，也是最为普通的形式；另外，“简便坐餐式”是指虽然为每位来宾准备了餐桌及座位，但菜肴是自助餐形式、每个人需要自己走去拿；而“立餐式”则是指可以在会场内任意走动的进餐形式。

喜筵的三种形式虽然各有长处，但是有老人或孩子参加的话，最好不要选择立餐式喜筵。

### 结婚纪念日

庆祝结婚纪念日这一习俗的起源原本是英国，之后传到美国，并逐渐地推广到世界各地。日本是在明治年间开始时兴这项活动的。

最初只是庆祝五次，之后次数逐渐增加，到了现在，结婚之后一直到15年为止的每一年、15年之后一直到60年为止的每五年，都有一个专为这一天所取的名称。其中主要名称如下：

第1年 纸婚纪念日 / 第5年 木婚纪念日 / 第7年 铜婚纪念日 / 第10年 锡婚纪念日 / 第15年 水晶婚纪念日 / 第25年 银婚纪念日 / 第30年 珍珠婚纪念日 / 第50年 金婚纪念日 / 第60年 钻石婚纪念日



一方、日本の伝統文化にふれたいということから、「神前」や「仏前」をあえて選ぶ場合も少なくないようです。

### 披露宴 (ひろうえん)

一般的には、結婚式に引き続いて、その日のうちに親類、友人、知人などに結婚したことを報告し、喜びを分かち合う場である披露宴を行います。

披露宴の形式には、「着席スタイル」、「着席ビュッフェ」、「立食ビュッフェ」の3つがあります。このうち、「着席スタイル」はテーブルに着席してゆっくりコース料理を味わう形式で、もっとも一般的です。また、「着席ビュッフェ」とは、着席するテーブルは各人ごとに用意されているが、料理はバイキング形式で各人が取りにいくものです。さらに、「立食ビュッフェ」は、自由に会場内を動き回れる形式です。

それぞれの利点はありますが、高齢の方や小児が出席する場合は、立食は避けたほうが無難です。

### 結婚記念日 (けっこんきねんび)

結婚記念日を祝うという風習はイギリスから始まり、その後アメリカなどに渡り、次第に広まっていきました。日本では明治時代に行われるようになりました。

当初は5回だけのお祝いでしたが、その後、次第に回数が増えていき、現在では、結婚後15年目までは毎年、それ以降は60年目まで、5年毎に結婚記念日の名称が決められています。その主なものは、以下のとおりです。

- 1年目 紙婚式 / 5年目 木婚式 / 7年目 銅婚式
- 10年目 錫婚式 / 15年目 水晶婚式
- 25年目 銀婚式 / 30年目 真珠婚式
- 50年目 金婚式 / 60年目 ダイヤモンド婚式